

国語科

第1項 はじめに

各学年における国語科の学習目標は、以下のとおりです。

1 学年（基本）

基本的な内容を学ぶとともに、学習習慣を身に付ける。

2 学年（深化）

発展的な内容を学ぶとともに、自分の進路を見据えて意欲的に勉強する態度・習慣を身に付ける。

3 学年（応用・発展）

進路希望に合わせた専門的な内容を学ぶとともに、進路実現に向けて自分自身で工夫して勉強する態度・習慣を身に付ける。

第2項 勉強方法

2 学年では「論理国語（2 単位）と古典探究（3 単位）を学びます。成績（評定）は別々です。「論理国語」では、1 学年よりも高度で論理的な文章を読み、読解力を身につけます。「古典探究」では、小説を通して心情等に理解を深める読解力を身につけるとともに、多くの古典文学作品を通じて、知識を深め、応用力を養います。「論理国語」「古典探究」どちらも日々の努力を怠らず、自ら考え応用しようとする意欲が大事です。

- 1 「論理国語」では、予習として本文を読み、わからない漢字の読み・語句の意味等は辞書で確認します。文脈と構成、情景と心情の描写について読解し、文章全体の要旨・テーマ（主題）をつかむと同時に、私たちを取り巻く現代の状況との関連について考察していきます。
- 2 「古典探究」の中でも、「古文」「漢文」は、必ず予習・復習をしましょう。ノートは「あとから繰り返し見る」「あとから書き加える」ための道具です。余白を十分に取って書きましょう。
 - ①本文を大きめの字で数行空けてノートに書き写します。
 - ②教科書脚注を参考にして、意味を取りながら読んでみます。わからない語句があったら、適宜、古語辞典・漢和辞典を引いて意味を調べ、ノートに書き込みましょう。電子辞書は便利ですが、紙の辞書の方が読んだ時に多くの情報が得られます。
 - ③文法書などを参考にしつつ、まずは出来る範囲で良いので、自力で現代語に訳します。参考書やインターネットの現代語訳を丸写しする人がいますが、自分で古典を読む練習としての予習ですから意味がありません。現代語訳の予習では「自分で考える」ことが何よりも大切です。
 - ④授業中に訳したものと比べて赤ペンで修正します。「なぜそのような現代語訳になるのか」が重要です。語句の意味や古典文法に則って正確に訳すことが大切です。
 - ⑤板書以外にも、先生が口頭で言ったこと、自分が疑問に思ったこと、授業中の質疑応答もノートに書き加えておきましょう。

3 学校の授業以外に

読書をしましょう。映画・演劇などの表現芸術に触れましょう。新聞等を通して世の中の動きに着目しましょう。教科書で学ぶことだけが勉強ではありません。読解力は、本来、様々な表現に触れる中で自然と身に付いていくものです。読みやすいエンターテインメントから出発して、より充実した、より高度な内容の小説に歩を進めても構いません。きっかけが何であろうと、知ることの楽しさが実感できればよいのです。映画や演劇でも、丁寧に造り込まれた表現は、ほかの何物にもない力で我々に訴えかけてくれます。図書館を積極的に活用しましょう。

第3項 教材について

入学時に購入した補助教材は、2学年でも継続して使用します。(以下の1・2・4・5・6)
その他、2年で補助教材を新たに購入します。(以下の3・7・8・9・10)

●…論理国語の授業に持参する教材 ★…古典探究の授業に持参する教材

- 1 **新訂版最新国語便覧** (浜島書店) ●★
国語で扱う文章について、作家・作品・語句など、多くの情報が掲載されています。
- 2 **入試頻出漢字+現代文重要語彙 TOP2500** (いいずな書店) ●
漢字・語彙についての教材です。
- 3 **名作を味わう定番小説選** (数研出版) ●
小説の読解力をつけるための定番作品を集めたものです。
- 4 「**これからの古典文法**」 (尚文出版) ★
- 5 **読んで見て覚える 重要 古文単語 315** (桐原書店) ★
- 6 **新明説漢文** (尚文出版) ★
- 7 **三訂版プログレス古典総演習 標準編** (いいずな書店) ★
古文・漢文の問題集です。1年で使用した問題集の2年生版です。
- 8 **原色小倉百人一首** (文英堂) ★
百人一首の参考書です。一年間で百首すべてを学習しましょう。
- 9 **ビギナーズ・クラシックス日本の古典 源氏物語** (角川書店) ★
日本を代表する古典作品のダイジェスト版です。
- 10 **文法メソッド4 枕草子に学ぶ助動詞・敬語** (浜島書店) ★
夏休みの課題となる教材です。

第4項 評価の観点 現代文・古典の評価の観点は以下のとおりとします。

○知識・技能 (観点1)

- ・文章を的確に理解し、適切に表現するために必要な知識や技能を身につけている。
- ・伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりを理解し、古典作品を読むのに必要な知識や技能を身につけている。

○思考力・判断力・表現力 (観点2)

- ・文章を的確に読み取り、論理的に考えることによって、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
- ・話を的確に聞き取ったり、伝え合ったりすることによって、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
- ・自分の思いや考えを論理的にまとめ、適切に表現することができる。

○学びに向かう力・人間性 (観点3)

- ・すすんで文章を読んだり表現したりする中で、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。

第5項 成績について 現代文・古典いずれも以下の内容を総合的に判断して評価します。

- * 中間考査・期末考査等のテスト
- * 漢字・古文単語等の小テスト
- * 課題 (長期休業中の課題を含む)・ノートの等の提出状況
- * 授業への出席状況・授業態度